

第 48 回北海道景観審議会（書面開催）

開催結果概要

1 審議期間

令和 2 年（2020 年）年 6 月 11 日（木）から

令和 2 年（2020 年）年 6 月 19 日（金）まで

2 議事内容

（1）景観形成と関連施策との連携に係る推進状況について

事務局より、「北海道景観形成ビジョン」に基づく景観形成と関連施策との連携について、令和元年度の実施結果及び令和 2 年度の実施計画を報告し、その取組内容等について、審議会委員に意見を求めた。

各委員からの意見等を踏まえて、令和 2 年度の取組に反映していきます。

（2）道内市町村における景観行政団体への移行状況について

令和 2 年（2020 年）8 月に景観行政団体に移行予定である富良野市と、景観行政団体に移行を目指す道内市町村の動きについて、報告を行った。

各委員から提出された意見等について、次回の審議会にて説明することとした。

3 審議会委員からの意見等と対応

別紙「第 48 回北海道景観審議会（書面開催）委員からの意見と対応について」のとおり

第48回北海道景観審議会（書面開催）委員からの意見と対応について

第1 景観形成と関連施策との連携に係る推進状況について

資料1-1 令和元年度(2019年度)北海道景観形成ビジョンに基づく庁内連携について【実施結果 説明資料】

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
1	全般	愛甲副会長	様々な連携の取り組みがすすんでいると確認できました。 一方で、担当から関連する会議での説明において、景観保全の取り組みがもたらす効果を数値や事例を用いて具体的に伝えるのがよいのではと思います。話を聞いた連携する先の担当が、漠然として何に取り組みがよいか、取り組むことで何が期待できるかをイメージできないように思います。	【令和2年度 改善点】 令和2年度の取組にて、改善していきたいと考えております。
2	会議又はセミナー等 38-1 高潮対策事業 52-1 空き家対策推進事業	檜澤委員	令和元年度の取組みとして「海岸保全施設新工法検討協議会」「北海道空き家等対策連絡会議」等の中で景観に関する情報発信ができたことは、成果のひとつだと思います。引き続き、少しずつでも同様の機会を捉えていくことが大事だと思います。	【令和2年度 継続事項】 令和2年度につきましても、令和元年度の実施結果を踏まえて取り組み、庁内連携を推進していきます。
3	会議又はセミナー等 56-1 ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ(道民カレッジ)事業	檜澤委員	「地域生涯学習活動実践交流セミナー」(2020年2月13~14日)で展示された「景観学習」に関するパネルは、今後の同様な場所や他の機会でも汎用可能なのではないのでしょうか。 (次回で構いませんので、参考としてパネルの内容を拝見させていただきたいです)	【令和2年度 検討事項】 「景観学習」の資料につきましては、いただいたご意見のとおりですが、作成してから時間が経過していることから、内容の精査が必要と考えています。 次回、参考資料として、審議会で配付いたします。
4	道職員向けの研修会等について 治山事業	村田委員	北海道においても自然景観の中で人工林は多く占めているため、治山事業とより強い連携が必要ではないかと思えます。	【令和2年度 検討事項】 いただきましたご意見を踏まえて、関係部局との調整を行っていきます。
5	情報発信等 38-1 海岸漂着物等地域対策推進事業 外4事業	吉田委員	「景観」というキーワードから興味ある事業のHPにリンクする件については、EUなどでの類似例(ドイツや英国の丘陵地帯等)を参考にしてほしい。	【令和2年度 検討事項】 ご意見によりHP検索いたしましたのですが、どのようなイメージをされているのか確認出来なかったため、大変申し訳ありませんが、次回の審議会にて参考となる資料のご提供をお願いします。
6	情報発信等 38-1 海岸漂着物等地域対策推進事業 外4事業 【資料：検討事項】	吉田委員	「インスタグラムへの検討」を進めるに当たっては、設計を工夫してほしい。 (例) テイスト別のコンテンツから対象地域や季節を限定して詳細へとリンクする手法	【令和2年度 検討事項】 いただきましたご意見につきましては、検討させていただきますが、「テイスト別のコンテンツ」について、どのようなイメージされているのか、ご大変申し訳ありませんが、次回の審議会にてご教示願います。

資料1-2 令和元年度(2019年度)北海道景観形成ビジョンに基づく庁内連携について【実績】

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
			意見等なし	

資料2-1 令和2年度(2020年度)北海道景観形成ビジョンに基づく庁内連携について【計画 説明資料】

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
1	整理番号10 北海道海岸漂着物対策推進計画 10-2 海洋プラスチックごみ発生抑制対策調査費	渡部委員	「情報発信等」が市民向けであるとしたらチラシやポスターの告知や調査後の分析だけでなく、取り組みの経過をビフォーアフターで画像等で掲載したり、シンポジウムで貢献したNPOを表彰したりするなど、景観行政が連携することで市民が関心を持つ取り組みにすることが望ましいのではと思います。	【令和2年度 検討事項】 いただきましたご意見を踏まえて、検討していきます。
2	整理番号10 北海道海岸漂着物対策推進計画 10-2 海洋プラスチックごみ発生抑制対策調査費	渡部委員	生態系の影響や誤食も懸念されていますが漂流物やゴミなどは人の手によるかたづけが必要です。 きれいな海を取り戻す事と、生き物を守るため、かたづけ活動をしている知人は、発信し啓発しています。 関心を持てる報告の仕方がネックではありますが所管部局が問題を解決していく過程や結果は、住人だけでなく道民の関心事でもあると思います。	【令和2年度 検討事項】 いただきましたご意見を踏まえて、担当部局と調整し、情報発信の手法などを検討していきます。
3	整理番号31 公共事業景観づくり指針(治山) 31-1 治山事業	工藤委員	「北海道公共事業景観づくり指針」の見直し検討は重要だと思います。無理な開発があると、景観の視点からもアンバランスな印象になり、安全性も疑われる環境になると思います。	【令和2年度 検討事項】 いただきましたご意見を踏まえて、見直しを検討していきます。

第48回北海道景観審議会（書面開催）委員からの意見と対応について

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
4	整理番号38 海岸保全基本計画 38-1 高潮対策事業	工藤委員	どのような海岸保全施設を作ったとしても、経年劣化をそのままにした状況は最も景観を壊すものになると思います。施設設置の際には、ぜひ維持管理計画をきちんと立てて、予算も十分に充てられるようにすべきなどの助言をしていただきたいです。	【令和2年度 担当部署への報告事項】 この度の事業連携は、「海岸保全基本計画」（計画期間2019～2029年）の改定に伴う連携ではなく、海岸を防護するための海岸保全施設の工法を検討するものであり、その検討の一つとして、景観に配慮していただくために取組を行っております。 ご意見につきましては、担当部署に報告させていただきます。
5	整理番号48 北海道みどりの基本方針 48-1 都市公園事業	工藤委員	今年度もパネル展が開催されるのであれば、ポスターだけではなく、北海道の景観スライドショーも併設で行っていただきたいです。人は動く画面に吸い寄せられます。スライドショーを見て、次に隣のポスターを読んでいただくような仕掛けをしてはいかがでしょうか。	【令和2年度 検討事項】 「景観スライドショー」につきましては、景観パネル展においても実施しておらず、またハード面及びソフト面の問題等があることから、今後の検討課題にいたします。
6	整理番号49 北の住まいるタウン 49-1 北の住まいるタウン普及啓発等事業	工藤委員	(8)備考の知事公約に「優れた景観の維持」とあります。また、連携事業の内容には「防災」の視点を加えた取り組みの検討が行われているとあり、今後のテーマを確認し連携について検討となっています。 どのようなテーマであっても何らかの箱物の設置が伴うと考えられます。 例えば、3月に開催された「北の住まいるタウン」地域協議会①当別町の事例では、学生の町内移住促進を目指すがありますが、その為には住まいとなるアパートや下宿などが建設されるでしょう。また地域交通（コミュニティバス）の確保には、バス停に待合小屋が設置されるかもしれません。②鹿追町の事例では、バイオガスパラント発電やチョウザメ飼育などとあり大規模な施設が必要になると思われます。 そのような建築物が景観上、地域に与える影響はとて大きなものになります。 今年度どのようなテーマであっても、その町にあった景観を考えることの重要性を是非伝えていただきたいです。 その町を知らない人たちが考えた施設は、著名な方の作品だとしても町民には受け入れがたい場合があります。	【令和2年度 調整事項】 いただきましたご意見を踏まえて、「北の住まいるタウン」と連携して、景観への配慮に向けた取組を行います。
7	整理番号49 北の住まいるタウン 49-1 北の住まいるタウン普及啓発等事業	檜澤委員	「北の住まいるタウン普及啓発等事業」の趣旨が「優れた景観の維持」と関連するとのことなので、今後の連携に向けて、景観行政との情報交換・意見交換の機会を増やしていけるとよいと思います。	【令和2年度 調整事項】 いただきましたご意見を踏まえて、「北の住まいるタウン」と連携して、景観への配慮に向けた取組を行います。

資料2-2 令和2年度(2020年度)北海道景観形成ビジョンに基づく庁内連携について【計画】

番号	資料番号等	委員名	意見等	回答等
1	整理番号18 北海道観光のくづくり行動計画 整理番号27 北海道森林づくり基本計画 整理番号29.30.31.33.37.54.55 公共事業景観づくり指針	小篠会長	今年度の計画で、事業連携有と記載されているもの以外でも、本当は連携すべき事業がまだあるように思います。ご苦労だとは思いますが、連携可能性に関する情報収集を引き続きお願いしたいものが下記のもので。 18.北海道観光のくづくり行動計画 27.北海道森林づくり基本計画 29.30.31.33.37.54.55.公共事業景観づくり指針(港湾、海岸、治山、道路、河川・水路、公共建築物等)	【令和2年度 調整及び検討事項】 整理番号18・27については、継続して情報収集を行います。 「公共事業景観づくり指針」につきましては、見直しする検討(資料2-1の2(2)を参照)を行っており、その検討の際、関係部局との調整を行う予定です。 この見直しを行った指針に基づき、連携に関する調整を行っていきたく考えております。

資料1-1、1-2、2-1及び2-2について(全体)

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
1	資料1-1～ 資料2-2	渡部委員	たくさんの詳しい資料ありがとうございます。 景観形成ビジョンに基づく庁内連携で、市民と行政の距離が縮まり、景観に関心を持ってもらえる取組みが増えることを期待します。 また、各関係部局からの5つの連携方針の、特に情報発信では景観形成ビジョンが市民とのクッション的な役割で景観への理解と意識の啓発を促すことができることが望ましいと考えます。	【令和2年度 継続事項】 いただきましたご意見を踏まえて、今後とも取り組めます。

第48回北海道景観審議会（書面開催）委員からの意見と対応について

第2 道内市町村における景観行政団体への移行状況について

景観行政団体へ移行する富良野市について

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
	意見等なし			

景観行政団体に移行を目指す道内市町村の動きについて

番号	資料番号等	委員名	意見等	対応等
1	道内市町村における景観行政団体への移行状況について	2 景観行政団体へ移行を目指す道内市町村の動き	小篠会長 富良野市がどのような活動をしているのかをモニタリングして、景観行政団体移行への課題を抽出する勉強会を開催するのもありか。	【審議会と情報共有及び検討事項】 次回の審議会にて、景観行政団体への移行に関する道内市町村の状況をご報告し、この度のご意見等も含め、委員の皆様よりご意見等をいただきたいと考えております。
2	道内市町村における景観行政団体への移行状況について	2 景観行政団体へ移行を目指す道内市町村の動き	愛甲副会長 (質問) 景観行政団体への移行を検討していない市町村について、独自の条例等の指定状況は？また、何が検討できない原因化は調査できているか？	【審議会と情報共有及び検討事項】 毎年、道内市町村に調査を行っており、状況を把握しており、次回の審議会にてご報告します。